

平成 年度

看護統合実習記録
(老年看護学領域)

実習場所			
実習期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
大学名	九州看護福祉大学 看護学科		
学籍番号		氏名	
担当教員名			
総ページ数			

看護統合実習(老年) 評価表

実習場所:()施設

学籍番号:

実習期間:()年()月()日～()月()日

学生氏名:

項目	評価内容	配点	自己評価	臨床評価	教員評価
マネジメント	複数の対象者に対するケアマネジメントを理解できる	5			
	領域実習の学びをもとに看護の継続性を理解できる	5			
	実習を通してチームの役割と機能を理解できる	5			
	職種間連携の実際を理解できる	5			
	ヒューマンエラー防止の必要性和工夫を理解できる	5			
ケアサービス	複数の対象者を把握し、健康課題を考えることができる	5			
	残存機能を生かしたケアができる	5			
	対象者に必要な看護の継続性を説明できる	5			
	専門性 施設職員と共にケアサービスを提供できる	5			
	家族およびキーパーソンの状況を理解し、支援を考えることができる	5			
	カンファレンスの学びをケアに生かすことができる	5			
	環境 構造上の安全性について説明できる	5			
	人的環境に配慮し行動できる	5			
	感染管理に配慮し行動できる	5			
	他機関 地域における施設の位置づけと連携の実際を説明できる	5			
職業倫理	有効に文献を活用しケアサービスに生かすことができる	5			
	日々実習計画を立案し、記録提出・管理ができる	5			
	実習に必要な連絡・報告・相談ができる	5			
	自己の健康管理ができる	5			
	清潔に留意した身だしなみを整えることができる	5			
合計		100			

看護統合実習（老年看護学領域）の自己紹介書

実習期間	平成 年 月 日～ 月 日	実習施設	
学籍番号		氏名	
老年看護学実習Ⅰ・Ⅱで印象に残っている学び			
老年看護学実習Ⅰ（介護老人保健施設）			
老年看護学実習Ⅱ（介護老人福祉施設）			
領域別実習で育んだ看護観と将来像			
看護統合実習で学びたいこと・受け持ちたい高齢者像			

実習記録(計画)

学籍番号：

学生氏名：

月 日

時 間	A氏	B氏
8		

実習記録(結果・評価)

学籍番号：

学生氏名：

月 日

時 間	A氏	B氏

看護統合実習での学び

学籍番号：

学生氏名：

Large empty rectangular box for recording learning outcomes.